



加工機や検査機などの設備をLAN接続し、不良・不具合・停止などの通知と記録を、随時メインサーバーに収集します

収集した情報は任意の方法で分析し、画面表示したりファイルに保存することが可能
各設備単体だけでなく生産設備全体を見える化し、総合分析することにより、設備全体の生産効率を高め、品質の維持向上を図ります

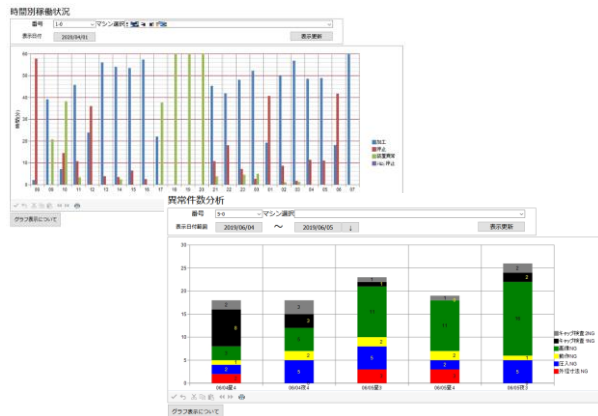
主な機能

1. 生産実績・装置停止・稼働効率・加工不良など各種情報をデータベースに保存することで、様々な分析を行うことができます。
2. 生産に関する諸情報をリアルタイムでアンドンに表示します。
3. 生産計画データをあらかじめ読み込むことにより目標値に対する実績評価が行えます。
4. 加工品にQRコード(カンバン)を紐づける事によりトレーサビリティを確立する事が出来ます。
5. 設備の不具合情報を分析する事により予防保全に役立てる事が出来ます。
6. その他、収集したデータを元に情報分析をする事が可能になります。

その他

- アンドンをはじめ各パソコンでは、ほぼリアルタイムでグラフィカルに生産状況やトラブルの把握に必要な情報表示が可能です。
- 現場に展開するハンディーターミナルはカンバンの読み込みだけでなく、オペレーターが現場で発生する様々な事象や情報をメインサーバに記録させる事が出来ます。
- 構内スピーカーを連動させることによりオペレーターに音で各種の通知をする事が出来ます

設備の有効利用



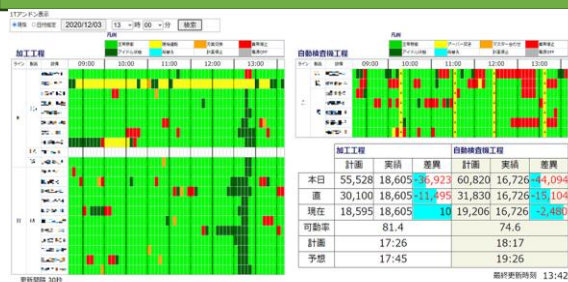
装置の停止状況、稼働効率、加工不良に関する各種情報を、データベースに記憶することで、豊富な種類の表やグラフで確認することができます。設備の不具合情報を分析する事により予防保全に役立てる事が出来ます。

生産計画に対する実績評価



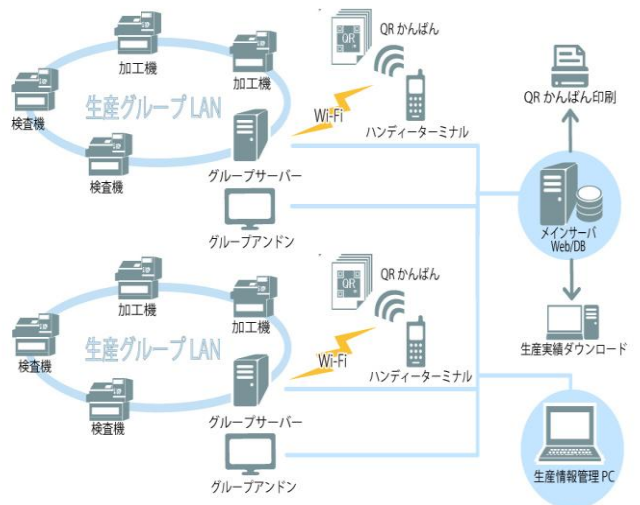
生産計画データをあらかじめ読み込むことにより目標値に対する実績評価が行えます。また、生産管理データをエクセル形式でダウンロードすることができます

リアルタイムの現場管理



生産に関する諸情報をリアルタイムにアンドンに表示することができます。また、構内スピーカーを連動させることによりオペレーターに音で各種の通知をする事が出来、作業者が即座に対応することができます。

システム構成



簡単な操作性



加工品にQRコード(カンバン)を紐づける事により、ハンディーターミナルでQRコードを読み取るだけで、トレーサビリティを確立する事が出来ます。

加工機や検査機などの設備をLAN接続することで、任意の必要な情報を随時メインサーバーに収集します。

パソコンに特別なアプリケーションをインストールする必要がないので、現在お使いのパソコンをそのまま流用することも可能です。

必要な機器構成はおよそ以下の通りです。

- ・サーバー
- ・クライアントパソコン(必要台数分)
- ・プリンタ
- ・ハンディーターミナル
- ・インターネット接続環境

お問い合わせは 株式会社 田中産業社

本社・営業部
電話 052 (321) 1080
Fax 052 (321) 1410
E-mail : info@engage.co.jp

技術部
電話 052 (263) 9740
Fax 052 (263) 9741